



株式会社パフ

Profile & Service

2017年6月19日

企業理念

Corporate philosophy

世界で、たったひとりのあなたのために。

会社概要

Company profile

社名	株式会社パフ（英文表記：Puff co.,Ltd.）
社名の由来	60年代フォークソング「Puff」（ピーター・ポール＆マリー）より
事業ポリシー	顔の見える就職と採用
事業内容	1) 職サークル運営・推進事業 2) 新卒採用コンサルティング事業 3) 新卒採用業務代行事業 4) タブレット端末型面接評価システムの提供及び運営サポート事業 5) 新卒内定者フォローシステムの運営サポート事業 6) 大学向け就業力育成支援事業
資本金	1億3,171万0,975円（資本準備金4,541万8,475円を含む）
設立	1997年12月12日
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-6 晴花ビル2階
セミナールーム所在地	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-9 精文館ビル7階
役員	代表取締役社長 釘崎清秀 取締役 島田隆浩 執行役員 吉川安由 執行役員 保坂光江 執行役員 大岡伸次 取締役（非常勤） 下園博康 監査役（非常勤） 木村和則
加盟団体	公益社団法人全国求人情報協会（賛助会員） 東京商工会議所 ふるさと就職応援ネットワーク



代表メッセージ

Top message

釘崎清秀

「顔の見える就職と採用」を目指し、歩み続ける。

新卒者の就職と採用をビジネスの領域としている会社は、世の中に多数存在しています。そして、「まだ社会で働いたことのない若者たち」を対象とするこのビジネスには、高い倫理観や道徳観が求められています。このビジネスを行うものは皆、若者一人ひとりの人生に重大なる責任を持たなければなりません。ウソをつくのは問題外。決して不誠実であってはなりません。

しかし、現状の就職・採用のビジネス（あるいは就職・採用のシステム）を見渡したとき、このことに対して胸を張れる関係者は、残念ながら少数派なのではないかと思われる。私たちパフは、創業時から「顔の見える就職と採用」というポリシーを掲げて事業を営んでまいりました。就職ナビの普及によって「本当の姿」が見えづらくなってしまった就職の現状に、一石を投じたいとの思いからでした。効率性のみを追求し、人間性を失ってしまった採用の現状に、警鐘を鳴らしたいとの思いもありました。

「世界で、たったひとりのあなたのために」という企業理念は、人間の一生を左右する大事な局面に携わるものとして、「一人ひとりの幸せを追求する事業者でなければならない」という私たちの決意でもあります。

もちろん私たちは、採用のための（あるいは採用されたのち、高い業績を上げ続けられる人材となるための）最高のソリューションを企業に提供し続けていきたいと考えています。しかし、それは私たちにとっては手段に過ぎません。

私たちパフが目指しているのは、人々が誇りをもって幸せに働ける社会。人々が「ひと」として感動し、喜びを分かち合える社会。そんな社会を実現させることこそが、企業の発展や世の中の繁栄につながっていくのだと思います。私たちの子どもや孫が暮らす未来をそんな社会にするために、私たちパフは真摯に、誠実に、目の前の仕事に取り組んでまいりたいと考えております。

パフが目指すもの

Mission

社会の共通財産であるすべての若者が
誇りを持ってはたらく世の中を実現すること

パフのサービスコンセプト

Concept

「学生よし」「企業よし」「社会よし」三方よしの新卒採用を実現する
顔の見える就職と採用

パフの運営するコミュニティ

Community

若者が誇りをもって働ける世の中づくりを行う
職サークル



若者が誇りをもって働ける世の中づくりを行うコミュニティが「職サークル」です。

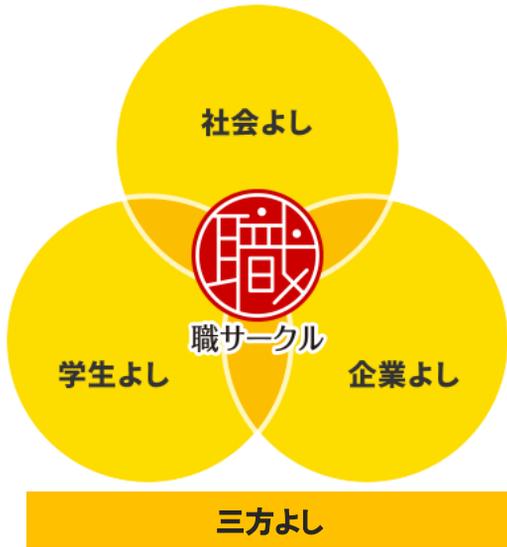
「学生たちのホンネが分からなくなった」と嘆く企業。一方で、「シゴトって何?」「働くってどういうこと?」と戸惑う学生。双方の間に横たわる溝を埋めるために学生と企業がお互いのホンネを理解し、ともに信頼関係を積み重ねていく場をつくりました。

若者が誇りをもって働ける世の中の中にしたい。そのために「学生よし」「企業よし」「社会よし」となる「顔の見える就職と採用の環境」を生み出したい。

その想いを出発点に、パフは創業以来、19年にわたり「職サークル」の運営を続けています。

職サークルに込めた想い

Wish



若者が誇りをもって働ける世の中づくりを行うコミュニティが「職サークル」です。

この活動に賛同いただいた企業様と共に
若者（学生）と社会（企業）が信頼関係を築き
「学生よし」「企業よし」「社会よし」となる
「顔の見える就職と採用」の環境づくりを目指しています。

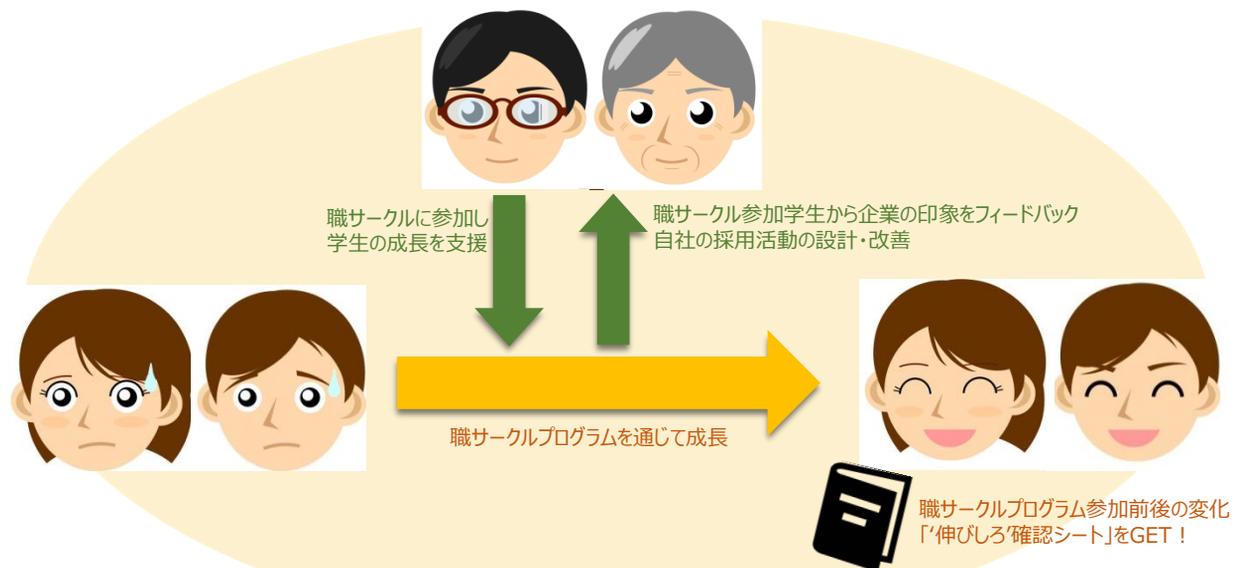
職サークルが果たす役割

Value

多くの可能性を秘めた若者が社会に巣立つ力を養う機会を
職サークル協賛企業と共につくり、運営することで
若者には、**自分が活躍できる場がどんなところであるかが気づける機会**を
企業には、**入社後自社で活躍しうる人材を発掘し見極めるための知見や学習の場**を
提供しています。

● 【企業】採用活動の施策設計・改善に重要な「学生の今」を知ることができる

学生の言動の裏側にある思いや考え、企業に対する印象や評価ポイントなど、学生のリアルが分かります。
学生を「点」でなく「線」や「面」でとらえる機会を得ることで、自社で伸びる人材を発掘するためのヒントが得られます。



● 【学生】 誇りをもって働ける環境を見つけるヒントがつかめる

職サークルの活動を通じて、どんな場や機会を経ると、自分はどんな良い・悪い変化があるのかがわかり、
自分の能力を発揮できる場がどんなところであるかが分かるようになります。

職サークルの代表的な取り組み

Main Activity



協賛企業コミュニティ 社会人同士で 切磋琢磨し学びあう

- 職サークル協賛企業交流会
- 職サークル協賛企業勉強会



広報活動 自社の採用スタンス を明確に打ち出す

- 職サークル協賛企業
採用活動ポリシー宣言ポスター
- 職サークルBook



若者&社会人 交流

若者と同じ目線で
「はたらく」について語る

- 職サークルBook REAL
- 職サークル
くだんTalk Night
- 職サークル
就活キックオフイベント

活動スタンス 「Share」

みんなで広めて、
みんなで学びあい、
みんなで育てあい、
そして、その成果を
みんなで分かち合う。

若者の社会に巣立つ力 を養う活動

体験学習を通じて若者を育てる
社会人自らも育つ

- 職サークル
100×10チャレンジ
2 Weeks/For Campus/Web版
- 職サークル
インターンプラス



就職支援活動

若者が自分に合う会社を
見つけるための応援をする

- 職サークル
就活応援講座
- 職サークル
シェア活Live
- 職サークル
Bizオーディション
- 職サークル
ビジネスモデル講座



職サークル<8期>活動内容

Schedule

7月

8月

9月

10月

11月

広報活動

職サークルBOOK
2017年6月発刊

全国500校への配布、首都圏30校キャリアセンターでの設置、

**職サークル協賛企業
宣言ポスター**
2017年9月配布

コミュニケーション

協賛企業交流会
2017年10月

交流・就活支援活動

**スタートアップイベント
職サークルBook REAL**
2017年9月19日(火)開催
職サークル会員250名
250社参加

Pr

Pr

くだん Talk Night / 就活応援講座
2017年8月～2018年3月まで
職サークル会員15名・3社参加 / 月2～3回程度開催

力を養う
(職サークル会員)

+ Pr

100×10チャレンジ 2 Weeks
2017年8月～12月まで
職サークル会員30名参加×11クール

+ Pr

**100×10チャレンジ
For Campus**
2017年8月
協賛大学在学学生30名参加×1クール

力を養う
(協賛企業エントリー者)

インターンプラス Before講座
2017年8月～2018年2月まで
協賛企業インターン参加者20名参加 / 15回開催

Pr

インターンプラス After講座
2017年8月～2018年2月まで
協賛企業インターン参加者20名参加 / 15回開催

Pr

ビジネスモデル講座
2017年10月～2018年2月まで
協賛企業インターン参加者20名・4社参加
全10回開催

職サークル<8期>活動内容

Schedule

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

職サークルイベント参加者への配布、協賛企業主催イベント・説明会での配布、職サークル会員へのe-book送付

職サークル協賛企業
宣言ポスター
2017年12月配布

職サークル協賛企業
宣言ポスター
2018年2月配布

協賛企業勉強会
2017年10月～2018年6月まで月1回

(3・4月は実施無)

協賛企業交流会
2017年12月

Bizオーディション
2017年11月～2018年3月まで
職サークル会員30名・5社参加
全10回

Pr

就活キックオフイベント

2018年1月中旬開催
職サークル会員200名／プレミアム協賛企業50社



…職サークル協賛「プラス企画」
参画企業様限定企画



…職サークル協賛「プレミアム企画」
参画企業様限定企画

職サークル協賛企業

Sponsorship

職サークル協賛企業とは、職サークルを共につくるコミュニティ参加企業です。
「道義を重んじ、ウソのない誠実な採用活動」を行っている企業様にご参画いただいています。

<職サークルに集う社会人の行動指針>

私たちは、道義を重んじ、学生と企業の信頼関係を構築します。
私たちは、学生と正面から向き合い、働く楽しさ・厳しさ、意義を伝え、働く覚悟を問います。

<職サークル協賛企業 採用活動指針>

1. ホンネの採用活動

- 学生がビジネス・社会の実際を理解できるよう、企業側から胸襟を開きます

2. 人間的な採用活動

- 連絡の期日など、約束を守ります
- 学生の視座に立ち、誠実に対応します

3. 公開する採用活動

- 各選考の内容・目的を事前に公開します
- 会社情報・採用情報を徹底公開します



職サークル協賛企画

Activity

● 職サークル協賛企業 採用活動ポリシー宣言ポスター



学生に対して誠実な採用を行う企業の集合体として、
協賛企業の採用活動のポリシーと職サークルの活動内容を広報するツール

■ 配布場所：

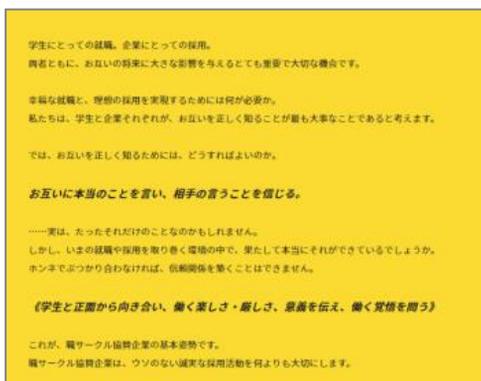
- 1) 全国の主要大学500校への郵送
- 2) 首都圏30大学キャリアセンターでの設置

■ 配布時期

- 1) 2017年9月
- 2) 2017年12月
- 3) 2018年2月

■ 掲載内容

- 1) 職サークル協賛企業採用ポリシー宣言文
- 2) 協賛企業社名



職サークル協賛企画

Activity

●協賛企業 交流会

「学生よし」「企業よし」「社会よし」の顔の見える採用活動を行う企業様同士の情報交換会。各社の採用活動における取組み事例の共有や特別講師による講演なども実施しています。年間2～3回程度の開催を予定。



●協賛企業 勉強会

お互いの採用力向上を目指し、切磋琢磨できる勉強会を年7回（10.11.12.1.2.5.6月）開催。

【昨年のテーマ例】

外部講師による講演&参加者による情報共有会

- 新卒採用のパラダイムチェンジをじっくり考えてみよう会議 講師：海老原嗣生（株式会社ニッチモ 代表取締役）
- 成長人材を採用するために必要なこと 講師：服部泰宏（横浜国立大学大学院 准教授）、伊達洋駆（採用学研究所所長）
- 学生から選ばれる！インターン&セミナーのコンテンツとバリューを考える 講師：栗田卓也（株式会社マイナビ 社長室 H Rリサーチ部 部長）

若手採用担当者育成セミナー

- 自社の魅力を伝えるプレゼンテーション講座
- 学生から魅力的に感じられる面接講座

採用成功定期振り返りワークショップ

- 自社の採用成果発表会
- 自社の採用の振り返りと課題の洗い出し、解決策をチームで考える

●社会人と話そう！職サークルBook REAL

学生が多様な社会人と対話し、視野を広げるきっかけを提供。職サークル8期オープン直後の最大イベント

- 日程 2017年9月19日（火） 13:30～18:00
- 参加学生数 250名
- 参加企業数想定 250社
※1社につき1名まで参加可能。

■プログラム概要

【1】レクチャー「社会に巣立つうえで本当に身につけなければならない力とは」

社会人訪問実施の意味とインタビュー時の準備ポイントを説明

【2】社会人訪問「10チャレンジ」

10人の社会人にその場でインタビューを行う（20分×10人）

【3】気づき「シェア座談会」

10人の社会人にインタビューして気づいたことを学生と社会人混合でシェア

※当日対話いただいた学生との名刺交換を実施します。



職サークル協賛企画

Activity

⊕ 100×10チャレンジ（社会人訪問プロジェクト）

■ 目的

学生の学びや成長の機会を提供し、職業観を養い、結果としてより良い就職活動が行える土台や環境を形成するための活動（2014年8月より活動スタート）

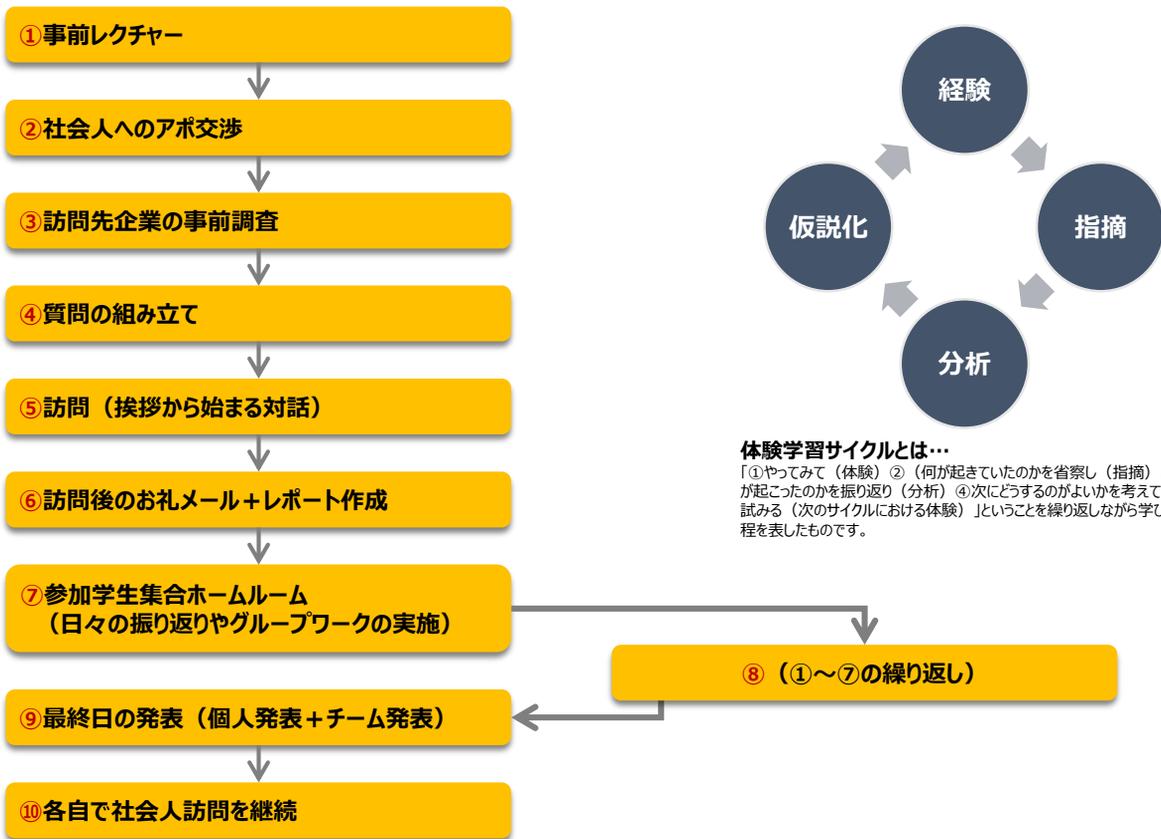
■ テーマ

100人の社会人に会って、10の未来を見つけよう

■ 活動内容

体験学習サイクルのしくみを活用した育成プログラム

- ・事前レクチャー後、訪問のアポイント交渉から訪問準備を各人で実施
- ・2週間で最低10名、多くて20名以上の社会人にインタビュー訪問を実施
- ・訪問での気づきを定期的に振り返り、最終的に「自分はどんな企業であれば成長できるのか」をまとめて発表
- ・集団プログラム終了後は、個人で社会人訪問を継続し、自身の力に磨きをかける



■ 活動を通じて学生が磨かれる力

社会で活躍する人材になるために必要な「4つの力」

- 学習する力**：足りない点に気づき、知識や情報を習得・収集するための取り組みを意欲的に実践する。
- 思考する力**：得た情報や知識を自分のものにし、物事を一歩踏み込んで考えて、それを表現できる。
- 行動する力**：現状を把握して目標を設定し、計画を立て、行動を遂行できる。
- 協働する力**：相手を共感的に理解し、対立を恐れず、柔軟に働きかける。



職サークル協賛企画

Activity

2Weeks

- ・1クラス学生30名程度。専任のトレーナー（指導員）がつき2週間の進行を行う
- ・訪問先は、職サークル100×10チャレンジ受入れ企画ご参画企業でご登録いただいた社員
- ・2017年7月～12月まで全11クール、合計300名超の学生が参加予定

※HR=ホームルーム。学生は活動期間中2日に1回の頻度で集合し、レクチャーを受けたり、社会人訪問のPDCAを回したり、グループワーク等を実施します。

※※社会人訪問は、学生が自分で社会人にアポ交渉をします。授業の空き時間を活用しながらの訪問となります。

▼学生の活動スケジュール例（クールによってHRの曜日や時間は異なります）

【1週目】

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
★HR※1回目 12:00-18:00	社会人訪問	AM~17:00 社会人訪問※※ ★HR2回目18:00-21:00	社会人訪問	AM~17:00 社会人訪問 ★HR3回目18:00-21:00	社会人訪問	休み

【2週目】

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
休み	社会人訪問	AM~17:00 社会人訪問 ★HR4回目18:00-21:00	社会人訪問	AM~17:00 社会人訪問 ★HR5回目18:00-21:00	社会人訪問	★HR6回目 最終発表 12:00-18:00

職サークル

100
×10
ひゃくてん
チャレンジ

100人の社会人に会い
10の未来を見つけよう

For Campus

- ・上記「2Weeks」のホームルームを大学の学内で実施するプログラム。
- ・複数の協賛大学が参画し、他流試合をさせながら、成長を促します。
- ・2017年8月より1クール実施予定。

Web版

- ・社会人訪問をWebを通じて実施できる専用ツールを開発予定。
- ・2Weeksを修了した学生、職サークルのイベントに参加した学生が地方在住の社会人にもインタビューができます。

プログラムに参加した学生の変化を“見える化”するアセスメントツール

- ・プロジェクト開始時と、プロジェクト終了時にアンケート（学生の4つの力に対する自己認識を調査）を実施。学生の変化・成長の自己認識の変化を可視化します。
- ・2Weeks参加学生には結果をフィードバックし、自分の成長した力と、なぜその力が伸びたのかを振り返ってもらい、さらなる自己成長へとつなげます。



学生の「社会人訪問レポート」結果 受入企業へのフィードバック

- ・社会人訪問後に学生が記入する「社会人の印象」アンケートを実施。受入社会人本人の印象から、対話を通じて感じた企業の印象までを回答。
- ・月1回社会人別に数値を集計したデータを送付。採用に関わる社員へのフィードバック資料としてご活用ください。

所属名: _____ 調査日: _____

訪問人数: 6 名

項目	感じた	感じず
■訪問した社会人の能力を感心しましたか	6	0

項目	良かった	良かった
■訪問した企業に興味を持ちましたか	6	0
■この企業が提供するサービス・製品の価値を感じましたか	6	0
■訪問した社会人の対応を通じて、この企業に魅力を感じましたか	6	0

職サークル協賛企画

Activity

Pr くだんTalk Night

働くことに関する答えのないテーマに関して、企業と学生が車座になってそれぞれの視点で語り合うイベントです。「学生の今」を体感するマーケティングとしてご活用ください。

- ・学生数想定：15名程度
 - ・企業数想定：3社（1社2名まで）
 - ・テーマ例
好きなことを仕事にするべきか、得意なことを仕事にするべきか
働く上で「礼儀正しさ」と「仕事ができる事」はどちらが大切か
「考えてから行動する」「行動してから考える」はどちらが成果が出るか
大企業で働くべきか、中小企業で働くべきか
豊かな30代を迎えるために20代でなすべきこと
ブラック企業とは何か？
- ※イベント当日参加者で、貴社の採用情報をほしいとアンケートに回答した方の個人情報をお送りします

■実施時期

2017年8月～2018年2月

Pr 就活応援講座

模擬面接講座や自己分析講座など、学生の就職活動支援に企業様がアドバイザーとしてご協力いただく形式のイベントです。

- ・学生数想定：15名程度
 - ・企業数想定：3社（1社2名まで）
 - ・プログラム例
 - 1) 【協賛企業様パネルディスカッション】
現役人事に聞く、面接官が本当に見ているポイントはナニ？
 - 2) 【プチ模擬面接】
「学生2～3人×面接官1人」の模擬集団面接を3回程度実施
 - 3) 【学生×社会人 大交流会】
ゲームを交えながら、ざっくばらんにコミュニケーションをとっていただきます。
- ※イベント当日参加者で、貴社の採用情報をほしいとアンケートに回答した学生の個人情報をお送りします

■実施時期

2017年8月～2018年2月

Pr Bizオーデイション

職サークルのなんらかの企画に参加し、職業観を醸成した学生のみが参加するマッチングイベントです。当日参加者で自社にマッチしている学生には「オファー」を出すことができ、対象者には次選考もしくはセミナー参加の予約受付誘導をパフより連絡し、貴社への応募を促します。

- ・学生数想定：30名程度
- ・企業数想定：5社（1社2名まで）
- ・プログラム例
 - 1) 【協賛企業様パネルディスカッション】
業界・仕事・社風で比較しながら、企業の特徴をつかむ
 - 2) 【社会人インタビューワーク&協賛企業からのフィードバック】
参加社会人に学生がインタビューをするグループワーク。グループワークの学生の態度をみて、自社に合うか否かを評価。
合わせて学生たちへのグループワーク選考のアドバイスも実施
 - 3) 【企業別質問会】
学生が再度話を聴きたい会社を選んで質問会を実施

■実施時期

2017年11月～2018年3月

職サークル協賛企画

Activity

▼職サークル活動スタンスである「Share」をキーワードに、複数の企業さまとコラボレーションができる企画

100×10チャレンジで培った学生育成プログラムのノウハウ（体験学習サイクル）を協賛企業さまが実施するイベントやインターンシッププログラムと掛け合わせ、学生の力がより身につくプログラムへとブラッシュアップしていきます。

● インターンプラス

Pr After講座への参加

■ 内容

・協賛企業のインターンシップのBefore & Afterにサポート講座を実施。

漫然と1dayインターンシップに参加する学生を減らし、1dayインターン当日がより濃厚なものになるためのサポートの場として活用していただけます。

・講座は、オープン講座形式のため、複数の協賛企業さまから紹介された学生が混在。After講座では、学生同士がインターンプログラムをシェアする時間があるため、自社のインターンプログラムの広報としての効果も期待できます。

・Before講座：インターンシップの参加目的・目標の設定、参加意識の mindset セット（3時間）

・After講座：インターンシップでの成果（自己成長、その他目的達成）の確認、次に向けた目標設定

自分が参加したインターンプログラムの素晴らしさを他の参加者にシェア、プレミアム協賛企業との交流会（3時間）

■ 実施時期

2017年8月～2018年2月 全15回を予定



Pr 就活キックオフイベント

■ 内容

職サークルの様々なプログラムに参加した学生が一堂に会するイベントです。学生にとっては協賛企業の皆さまへのお礼の場であるとともに、就職活動のキックオフ的な意味合いの場にもなります。

・学生数想定：200名程度

・企業数想定：50社（1社2名まで）

・プログラム例

1) 【学生×人事座談会「プチくだんTalk Night」】

2) 【採用担当者によるパネルディスカッション】

3) 【テーマ別座談会 & 模擬面接会】

4) 【アポ取りコミュニケーションタイム】

※イベント当日参加者で、貴社の採用情報をほしいとアンケートに回答した学生の個人情報をお送りします

■ 実施時期

2018年1月中旬



★ シェア活Live

■ 内容

・企画に参画した協賛企業が合同で「企業比較イベントを実施」

・業界別、参加学生属性別など、共通点の多い会社同士でコラボレーションをします。

・参加者は、参画各社のエントリー者に告知をして集めます。

・複数の会社が協働して広報を行うことで、自社では集められない学生との接点が得られます。またイベント当日に様々な切り口で企業を徹底比較することで、参加学生に自社の特徴をより明確に理解してもらえます。

■ 実施時期

2018年2月～3月を予定



職サークルに対する声

Voice



著書：「採用学」(新潮選書)▲

横浜国立大学大学院 准教授
採用学研究者

服部泰宏さん

職サークル・100×10チャレンジを通じ学生たちに**就業観が養われ、行動力が向上**することが私たちの検証により明らかになりました。
学生にはそれぞれの良さが内在していますが、それは大学の外にいる**たくさんの人との出会いや経験により初めて発見できるもの**なのです。

<受賞理由>

複数企業が協賛して学生の社会人基礎力の向上を促進し、社会・企業について社会人から直接学ぶことを可能にする「職サークル」というプラットフォームの提供は、**学生と企業の相互理解により社会・企業とのミスマッチを軽減させるとともに、就職率を向上させる優れた取り組み**であると評価されました。



人材サービス優秀賞
(採用部門)

職サークル100×10チャレンジが、
第4回 日本HRチャレンジ大賞
人材サービス優秀賞(採用部門)を受賞!



100×10チャレンジ
2016年夏クール参加者の声

大学3年生
男性



僕は今、大学3年です。周りも含め大半が就活に向けてインターンシップを行なう時期です。時々たま出る天邪鬼な性格からか、大学のインターンを選ばずに、パフというベンチャー企業が企画・運営するインターンに参加しました。内容は、会社訪問をし、ひたすら社会人にインタビューを行っていくというもの。100人の社会人に逢い、10の未来を見つけるというものでした。
自分の人生と仕事と生活を考えていくうちに、自分が納得できればそれでいいという結論に至りました。
- 比較なんて意味がない。正解もない。-
そんな中で出来ることは自分自身が納得した行動をしていくことだけ。自分が納得できないのに、人を納得させることなんてできない。
関わってくださった社会人の方々、そして同期に出逢えて良かった。本当にありがとうございました。このインターンを選択したこと、この経験に、とても納得しています。

100×10チャレンジ
2016年夏クール参加者の声

大学3年生
女性



自分が過去行ってきた選択について、「なぜそのような選択をして、その結果をどう思ったか、そしてそう結論付けた理由」まで探ることで、自己分析を進めていくことができるとわかった。

私も含めて志望動機によく「人の役に立ちたい」というものがあるが、それも掘り下げていき、どんな人の役に立ちたいのか、そもそも人が好きなのかも見直す必要があると思った。

職サークル創設者の思い

Spirit

10代後半から20代前半にかけての「若者」は、断続的に発生する環境変化の中にある。高校卒業や大学進学、そして就職へとイベントが続き、その中で周囲の人間関係や経験などから様々な刺激を受ける。こうした一連のプロセスは、若者の変化や成長に多大な影響を与える。採用に携わる担当者の皆様ご自身も、かつてこのような環境変化を経験してきたのではないだろうか。

これらの変化の中でも特に「成長」を促進する機会が「就職活動」である。就職活動において、学生達は自らの志向性を模索し、企業の門を叩き、多くの失敗と小さな成功を繰り返しながら、活動を進める。晴れて入社となれば、新たな社会に適応するための術を、葛藤を繰り返しながら習得していく。就職活動の濃度は、彼らの成長にとってかけがえのないものとなる。その経験の中で、彼らはいかに力を蓄え、一人前の社会人となっていくのか。そのプロセスに焦点を当てることは、人材の活用を考える私たちに大きな示唆を与えてくれる。

このような学生達の、そして新社会人達の成長を想う時、ふとよぎるものがある。私たちは、彼らの成長を捉え、真摯に向き合い、採用をすることが出来るだろうか。彼らの成長を前にして、採用の成功をどのように定義し、いかに向き合っているだろうか。

例えば服部泰宏氏(横浜国立大学大学院准教授)はその研究論文(2016年)のなかで、採用の目的のひとつとして「企業の目標および経営戦略を実現すること」を挙げている。良い採用の基準について、「高い成果を収める人材を獲得できているか」「人材が高い満足度を得て中長期的に働き続けるかどうか」を成果として提示している。

初めから高い成果を収める人材は稀であり、中長期的に成長しながら成果を収めるようになる。とすれば私たちは、若者の経験する環境変化を、成長へと導くために何が出来るだろうか。ビジネスの文脈で言い換えるならば、彼らの成長を自らの企業の成果へと結びつけるために何が出来るだろうか。環境変化に戸惑い揺れ動く彼らの中にある可能性をどう見出してあげればよいだろうか。その可能性を高めるために私たちは何が出来るだろうか。

職サークル協賛企画一覧

Price

			基本企画	プラス	プレミア
		単価	55,000円 ↓ 広報協力実施 0円	137,000円 ↓ 広報協力実施 82,000円	875,000円 ↓ 広報協力実施 820,000円
1	職サークルWeb協賛企業一覧への社名・ロゴ・業種掲載	100,000円	○	○	○
2	職サークル協賛企業宣言ポスターへの社名掲載		○	○	○
3	協賛企業交流会への参加 (年2回開催)	1回 5,000円	1回 500円	1回 500円	追加費用なし
4	協賛企業人事勉強会への参加 (年7回開催)	1人 30,000円	1人 15,000円	1人 15,000円	追加費用なし
5	職サークルBook REALへの参加 (学生250名参加/2017年9月開催)	100,000円	○	○	○
6	100×10チャレンジの学生受入	100,000円	—	○	○
7	100×10チャレンジ受入社会人の印象レポートをご提出(月1回)		—	○	○
8	インターンプラス	<ul style="list-style-type: none"> ■利用…150,000円 ■After講座参加…150,000円 ■プログラムフォーマット提供…350,000円 	利用	利用	<ul style="list-style-type: none"> ・利用 ・After講座 1回参加 ・プログラムフォーマット提供
9	くだんTalkNight/就活応援講座への参加(学生1回15名参加)	1回 50,000円	—	—	3回参加
10	就活キックオフイベントへの参加 (学生200名参加/2018年1月開催)	400,000円	—	—	○
11	Bizオーデションへの参加 (学生30名参加)	350,000円	—	—	1回
12	シェア活Liveへの参加	企画により別途お見積り	オプション参画のみ		

※上記の価格はすべて税別です。

学生に対して誠実な採用活動を行う会社の証として、職サークル協賛企業であることの広報活動にご協力ください。

(広報活動にご協力をいただいた企業様には、職サークル参画料金から55,000円を割引させていただきます)

(広報活動例)

- 貴社の採用ホームページに「職サークルロゴ」を掲載し、職サークルホームページにリンクを張る
- 自社エントリー者用メール署名に「職サークル協賛」の告知とURLの掲載
- 自社のエントリー者に職サークルのイベントをメールで告知 ※3回程度を想定 文面はバフからご提供します。
- 自社のイベントで参加学生にチラシを配布 ※1,000枚以上



パフの新しい取り組み

New



●履修履歴オファーサービス ～「学び」と「働く」の架け橋に～

■背景

企業が新卒学生を採用選考する際に履修履歴を活用するケースは少なく、「学生時代に力を入れた課外活動のこと」を面接で聞くケースが一般的でした。また、学力についても、大学時の成績よりもSPI等の基礎能力検査をもとに合否判定を行うケースが大半でした。

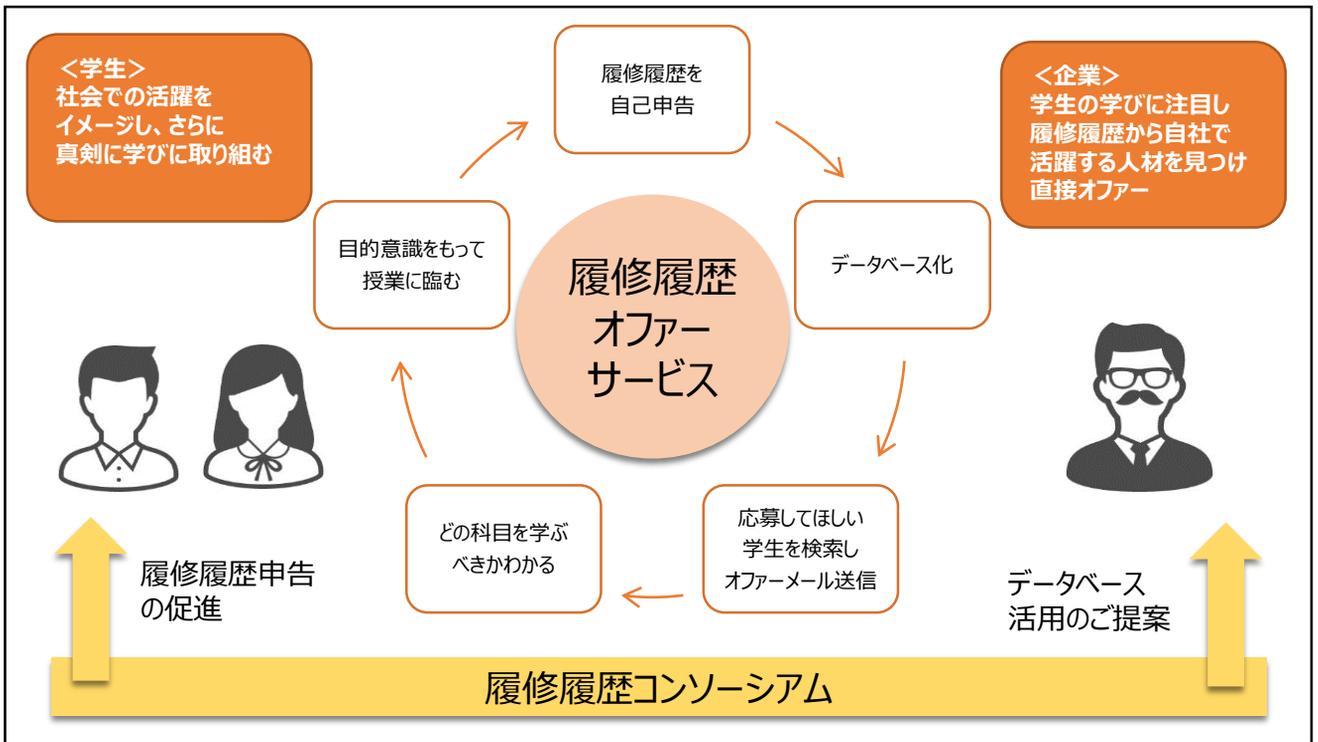
つまり、学生の本分である大学での学びが就職活動ではほとんど注目されていないという問題を抱えていました。

■サービス概要

「学び」と「働く」をつなぐことで、ともすれば「学業阻害」と批判されることの多い昨今の企業の新卒採用のあり方を変え、同時に学生の学業への取り組み意欲を向上させ、大学の授業の質向上にも貢献できる。

そんな社会を目指し、企業の新卒採用やインターンシップ採用における履修履歴活用を推し進めるサービスとして「履修履歴オファーサービス」をリリースいたします。

本サービスにより産業界にとって重要な専門科目や授業が明らかになり、それらを履修している学生を容易に検索・オファーできるようになり、学生は自分が大学で得た学びによって、企業からのオファーを受け取ることができるようになります。



■コンソーシアムの発足

本サービスは社会的意義が極めて高いものであることから、迅速に社会に広めていくべく、「履修履歴活用コンソーシアム」を発足させ、パフが事務局を務めます。

意義に賛同し、一定の条件を満たす就職情報事業者はコンソーシアムへの参加を積極的に呼びかけていく予定です。既に新卒者向けに就職情報メディアを提供する就職支援会社約20社の参加が決定しています。



2017.6.14
日経産業新聞にて取り
上げていただきました



2017.5.30
日経新聞にて取り上げていただきました



● 日本採用力検定協会 ～人材の社会最適配置を実現するために～

■ 背景

新卒採用では、「若者が知っている」という意味での「有名企業」に志望が偏り、ごく少数の採用強者とその他大勢の採用弱者に振り分けられるいびつな業界構造が続いています。このいびつな構造を変え、人材の適材適所が社会レベルで実現すれば、国家レベルの経済活性化にも繋がる可能性があります。これを実現するためには、企業は自社にとっての採用成功のみを意識する「企業最適」から一歩進み、採用活動を社会に巣立つ若者を育む「人材育成」の機会ととらえ、社会全体にとって人材が最適に配置される「社会最適」の視座をもって採用に取り組むことが必要であると考えております。

■ 日本採用力検定協会の設立

企業の採用担当者が、基礎的な知識やスキルを身につけるのは勿論のこと、より高次の視座からの人材採用を実施できるようになること。そしてそれが、自社、業界、産業界、ひいては社会全体の発展につながることを最大の目的に、日本採用力検定協会を設立いたしました。

<組織概要>

名称：一般社団法人 日本採用力検定協会

役員構成：

代表理事：釘崎清秀（株式会社パフ 代表取締役社長）

理事：今野浩一郎（学習院大学名誉教授）

理事：服部泰宏（横浜国立大学大学院准教授）

理事：伊達洋駆（採用学研究所所長／株式会社ビジネスリサーチラボ代表取締役）

理事：寺澤康介（ProFuture株式会社 代表取締役社長）

理事：曾和利光（株式会社人材研究所 代表取締役社長）

理事：木津幸三（株式会社イーアンドエス 常務執行役員）

監事：島田隆浩（株式会社CSソリューションズ 代表取締役）

発起人(社員)：株式会社パフ、株式会社ビジネスリサーチラボ

<事業内容>

採用担当者の「採用力」を高めるために、以下の事業を実施いたします。

研修事業

- 企業の採用担当者のみならず人事部門を統括する部門長や経営者に対して、受講者が有している立場や経験スキルに応じた研修を実施いたします。

検定事業

- 左記研修に連動する形での複数の検定試験を用意します。試験合格者には、日本採用力検定協会の認定証や称号を発行いたします。

調査・情報発信

- 採用に関する本質的ないしは最先端の情報を発信することを通じて、採用の重要性を社会的に共有いたします。

<参考>

採用力を構成する枠組みについて



計画する

課題の的確な把握と「学生の今」の理解に基づく綿密な計画。

実施においては柔軟性のある体制づくりを後方支援します。

出会う

企業と学生が対等な立場でお互いを知る場を創出。

直接接触の効果を最大化する多彩なイベントを企画しています。

知ってもらう

共感の醸成から始まる理解促進。

動機形成へとつなぐコミュニケーションのきっかけを生む広報ツールを制作します。

設計、プロセス管理、業務代行まで一貫してお請けする

顔の見える
採用コンサルティング
「採用設計支援」
「採用業務代行」

- 学生視点に立ったコミュニケーションプラン（採用プロセス）の策定
- 先を見越した採用スケジュールと体制づくりの作成支援
- 定期的な振り返りと計画見直しのご提案
- 採用定常業務の代行

学生と企業、企業同士の信頼関係の上に成り立つ

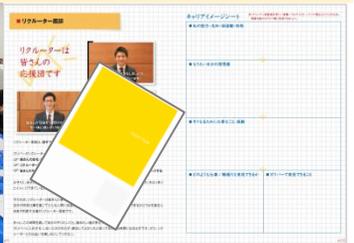
顔の見える
就職イベント
「シェア活Live」

- 顔の見える距離感
- 参画企業が胸襟をひらき、学生と同じ目線で語り合う姿勢で参加
- 「他社よりも目立とう」とするプッシュ型の企業PRイベントではなく、企業の共通点・相違点が明確になるよう、参加企業が協力し合って各社の特徴を浮き彫りにするコンテンツ

自己分析&企業研究を両立しながらコミュニケーションを深める

顔の見える
広報ツール
「選考アシストノート」

- 次の選考に向け、学生が自分自身を振り返るためのワークシートが入社案内と一体型になったパンフレット
- 選考前後の学生とのコミュニケーションを深めるツールとして大活躍



■ 計画・設計

- ・人材要件定義
- ・年間目標設定
- ・KPI設定
- ・採用スケジュール作成
- ・採用戦略設計

■ 採用プロジェクトマネジメント

- ・タスク管理
- ・定例会開催

■ 業務の効率化

- ・採用業務代行
- ・タブレット型面接評定表「Good Assessor」

■ 職サークル会員向けイベント

- ・くだんTalk Night
- ・就活キックオフイベント
- ・Bizオーディション
- ・シェア活Live

■ 他社メディア会員向けパフ運営イベント

- ・ふるさとキャリアミーティング
- ・ふるさと行脚ツアー
- ・会津大学内模擬面接講座

■ コミュニケーション型広報ツール

- ・選考アシストノート
- ・社員訪問スタンプラリーノート
- ・採用用名刺
- ・社員コミュニケーション/エピソードカード
- ・イベントお土産/ガチャガチャカード

■ その他広報ツール

- ・採用ホームページ、パンフレット
- ・イベントばらまきツール
- ・イベントブース装飾

■ コミュニケーションツール

- ・企業マイページシステムPeace!

『顔の見える採用』支援サービス

確かめる

複数の接点を通じて見える変化からわかる‘伸びしろ’の確認。

お互いをさらけ出すことで、合うか合わないかを判断できる多様なプログラムを設計しています。

決めてもらう

一人ひとりの価値観と判断軸の徹底理解。

遠回りに見えて、一番の近道となる個別アプローチ施策を多数用意しています。

育てる

課題の把握と主体的な目標づくりをサポート。

学生が自走するきっかけとなる場や機会を用意しています。

代表的なサービス>

結果の見える化とフィードバックによる成長実感が、動機形成につながる

顔の見える プログラム開発 「伸びしろ」選考

- 各社の会社・仕事・人をより深く理解できる体感型プログラムの設計
- プログラム前後の学生の変化・成長がわかるアンケート&アウトプット「伸びしろ見える化シート」をご提供
- 「伸びしろ見える化シート」を活用して、プログラムを通じて見えた変化（成長）をフィードバック。セルフスクリーニングと魅力づけを同時に実施

第三者の介入による意思決定基準の明確化とホンネの情報把握

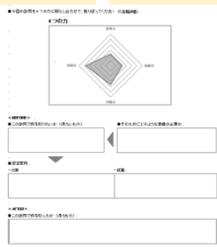
顔の見える 内定クロージングイベント 「意思決定イベント」

- 学生が自分でも気づいてない本当の「企業選びの基準」を第三者であるパフスタッフとの対話によって言語化
- 「後悔しない意思決定をするために、どんな情報を集め・判断するべきか」見える化し学生・企業の両社にフィードバック
- 企業は、各学生が最も必要としている判断基準に絞り、的を外さない情報提供・個別フォローの実施が可能に

自己分析&企業研究を両立しながらコミュニケーションを深める

顔の見える 研修プログラム 「伸びしろ」開発道場

- 事前ワークショップを通じて、受講者の課題を見える化
- 課題を踏まえた主体的な目標設定を実施
- 目標達成に向けた成長機会の場の用意と定期的な振り返りの実施
- 最終的な変化・成長がわかるアンケート&アウトプット「伸びしろ見える化シート」を定期的に振り返ることで、入社後も定期的に振り返り自ら目標を設定できる人材へと育成



■ プログラム設計と改善のご提案

- ・インターン・セミナー・選考プログラムの設計
- ・プログラム効果検証アンケートの設計
- ・「伸びしろ」見える化アンケート&アウトプット
- ・学生モニタリング & プログラム改善レポート

■ セミナー運営支援

- ・就活支援講座の実施
- ・セミナー司会・運営代行

■ リクルーター、面接官スキルアップ

- ・研修コンテンツの企画・開発
- ・研修実施

■ 内定者クロージング

- ・意思決定イベントの企画・運営
- ・就活支援講座の企画・運営
- ・仕事の動機・役割タイプ判定アセスメント
- ・アセスメントタイプ別口説きトーク作成
- ・会社の見方講座

■ 内定者とのコミュニケーションツール

- ・内定者SNS

■ 研修プログラム

- ・プログラムの設計
- ・プログラム効果検証アンケートの設計
- ・「伸びしろ」見える化アンケート&アウトプット



世界で、たったひとりのあなたのために
